

(編入学)

# 令和5年度 入学試験問題

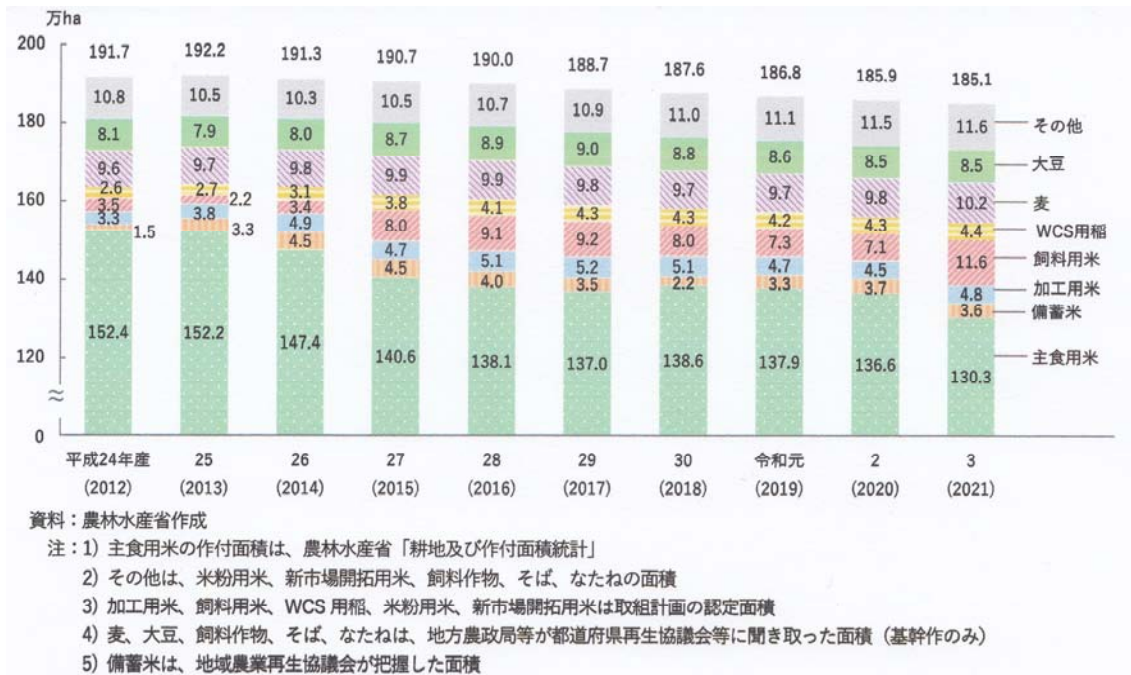
## 小論文

( 農学生命科学部 国際園芸農学科 )

### 【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。数字・記号・アルファベットの場合も同様とする。
6. 解答用紙の指定された欄に、受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

下の図は、日本の2012年以降における主食用米等の作付面積（図1）と1965年以降の食料自給率（図2）の推移を示したものである。



出題者注) 加工用米とは、「お酒、加工米飯、味噌、米菓等の用途に供給することを目的として生産される米穀」を示す。また、WCS（ホールクロップサイレージ）とは、穂と茎葉全体を収穫し、サイレージ（飼料）として利用するものを示す。

図1 日本における主食用米等の作付面積の推移

出典：農林水産省「令和3年度 食料・農業・農村白書」

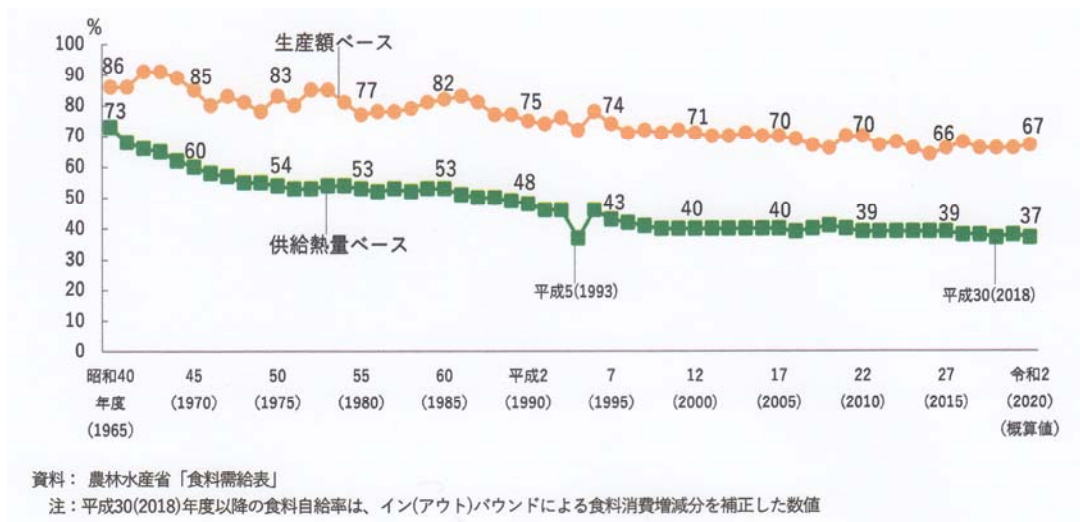


図2 日本の総合食料自給率の推移

出典：農林水産省「令和3年度 食料・農業・農村白書」

問1 図1から米の作付面積（ただし、その他に含まれる米は除く）の変化について考えられることとその理由について、500字以内で述べなさい。

問2 日本の食料自給率は図2のように低下の一途をたどっているが、食料自給率を高めるためにはどのようにしたらよいか、あなたの考えを300字以内で述べなさい。